

令和 6（2024）年度
第 1 回 栃木県立日光明峰高等学校 学校運営協議会

日 時 令和 6 年 6 月 6 日（木）
10 時 00 分～11 時 30 分
場 所 栃木県立日光明峰高等学校
メディア I（北校舎 3 階）

次 第

1 開会 【進行：事務局】

2 校長挨拶

本校では平成 30 年度より学校運営協議会を導入し今年で 7 年目になる。任期は 2 年なので今回で 4 期目を迎える。これまでの学校運営に関して委員の皆様から幅広いご意見やアドバイスをいただいていた。生徒のみならず職員にとっても恵まれた学習環境のなかで教育活動が展開できるのは皆様からのご支援の賜物であり厚く御礼申し上げる。本校はこれまでもコミュニティスクールとして地域と共にある学校づくりに取り組んできた。今年度に入っても地域ボランティアに積極的に取り組んでおり、4 月は学校として始めて弥生祭に参加した。また足尾の植樹ボランティアや 5 月の東照宮の千人行列に個人として参加した。今月には日光市議会議員の皆様との意見交換会を行う予定である。日光学においては金銀銅高校生サミットなど他県の高校との交流も拡充しているところである。部活動においてもウィンタースポーツ関係が県高体連の重点強化拠点校の指定を受け活躍が期待される。正式には決定していないが冬季のインターハイが次年度は日光で行われる予定である。文化部でも昨年度に続き科学部が全国総文祭への出場を決定しており、岐阜大会に参加する。その他の部活動も充実した活動を行っている。委員の皆様には現在在籍している生徒やこれから入学してくる生徒が今と同様に充実した学校生活を送れるよう本校の学校運営に対しお力添えをお願いしたい。

[県教委 挨拶]

近年生徒たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革・地方創生等の観点からも学校と地域の連携・協働の大切さが指摘されている。また生徒や学校の抱える課題の解決や生徒の豊かな成長のためには育てたい生徒像や教育ビジョンを地域や保護者と共有し、地域と一体となって生徒をはぐくむ地域と共にある学校づくりが有効とされている。

学校運営協議会は学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い学校運営に意見を反映させることで児童生徒の豊かな成長を支え地域と共にある学校づくりを進

める仕組みである。日光明峰高校ではこれまでも地域と連携・協働した教育活動や活発な取り組みが行われている。こうした強みを生かし、改めてこの制度を活用し引き続き地域と共にある学校づくりの推進に努めていく。

3 委員自己紹介

4 会長・副会長選出

会長 小野瀬善行委員 副会長 加藤孟委員 →承認

5 会長挨拶

1・2期の石井会長から引き継ぎ、学校運営協議会とはどういうものか、地域との連携はどういったものなのかを実例をもって学ばせてもらっている。日光明峰高の取り組みはこれからの高校教育の在り方を示すモデルとなる。ただ残念ながら再編という形で動いているので、その中でどのような活動をしていくのかを考えながら第4期をスタートできたらと思っている。委員のみなさまからも広く意見を吸い上げ運営に努めていきたい。OB、OG、今学んでいる生徒たちに地域の良さを誇りにもち、この学校で学んでよかったという気持ちをもってもらえるよう任にあたりたいと思うのでよろしくお願いしたい。

6 議事

(1) 令和5年度活動状況報告について

事務局より資料の説明

(2) 令和6年度学校経営方針について

昨年度の2月に承認をいただいているもの
学校安全にかかわる部分を一部変更した

(3) 令和6年度入試結果について

今年度55名（全国募集は5名）

[会長]今まで何名かいた宇都宮市の進学が0の理由は何かあるか

→今の段階で明確な理由はない

(4) 魅力化推進について

パワーポイントにて説明（日光学と地域連携について）
その後防災訓練のニュース（YOUTUBE）

[委員]千人行列では生徒と一緒におみこしを担いだ。明峰生は大活躍だった。

[委員]弥生祭には初めて協力していただき20名ほど参加だった。その子供たちの

意見があれば聞かせていただきたい。

→おみこしが東照宮の千人行列よりも重く、階段の上り下りが激しくハードであったという感想があった。

[委員]弥生祭は子供たちも喜んでにぎやかだったと聞いている。ただ 20 名は少なかったので来年はもっと参加していただければありがたい。千人行列についても自治会からでなく、東照宮から正式に直接お願いする形の方がよいかと思うので、そのように相談してやっていきたいのでその際はよろしくをお願いしたい。

[委員]Let 's 朝活について、去年まで福祉のまちづくり委員会とこちらの委員の生徒のみでやっていたが、今年は高校の中の福祉委員会の生徒たちが協力してくれることになって視野が広がった。日光中も最後の年なので中学生と中高連携でできることを考えていこうと前向きに話し合いをしながら進めていく。年 2 回だがそれ以外でもできることがあればやっていこうと思っている。

[委員]金銀銅サミットの関係で、世界文化遺産地域連携協議会に文化財課も入っており、会員であるので情報提供はしておいた。文化財課を通して PR していけたらと考えるがどうか。また湯ノ湖のボランティアもそうだが日光学では「ラムサール条約」というキーワードをいれて湿地保全等も進めてほしい。

→文化財課とは連絡を取り合っている。金銀銅サミットもそうだが日頃の日光学でもご支援をいただいている。さらに話をしていきたい。

「ラムサール条約」については個別ガイダンスで一部の生徒には説明しているが、それ以外の生徒達にも説明する方向で進めて行く。

[会長]日光学も 5 単位と大きな単位数であり 3 年生は今年で完成となる。成果の検証を会議の場で委員の皆様と共有できればと考える。

(5) 令和 6 年度の予定について

資料の通り

2 回目は 10 月に予定 日程は後日連絡

3 回目は日光学の全体発表の日 2 月 4 日 午前中

(6) その他

[委員]日光の老人会と明峰高の生徒の交流会があると聞いているがどのようなものか。

→7 月 2 日に日光学のフィールドワークのプログラムで小来川の老人クラブと一日交流を行うことになっている。昨年度は午前中にペタンクをやり、お昼はそば打ち体験をした。その後グループに分かれ座談会。

[委員]部活動の状況はどうか。

→特に新設の部活動はない。アイスホッケーやスピードスケート以外ではバスケット部とバドミントン部などが活動しているが団体として出られるのはバスケット部のみ。文化部はeスポーツ部の部員が多い。その他の茶道部や吹奏楽部、科学部等が活動。昨年度より大きな変更はない。ゴルフ部は活動しているが大会に参加するような状況ではない。

[委員]私も地元出身で戻ってきて魅力を感じているところがあり、若いうちから魅力に気づけばよいと学んでいるところである。高校生のうちに学んでいればその後全国に散らばっても日光の魅力を発信できるようになると思う。そういった意味では学んだ方がその後どう活動をされているかフィードバックできれば地域としてよいと思う。

[委員]自分は高校生活で土地を知ることができなかったのもので、このように学校として地域を知ることとはとても良いと思い話を聞くことができた。

7 その他
特になし

8 閉会